

梅雨の時期の災害に備えましょう

梅雨の時期を迎え、大雨や長雨による土砂災害や水害が発生しやすくなります。

災害に備え、雨量や土砂災害の前触れに注意し、避難方法や避難場所を確認するなど、「自分の安全は自分で守る」という気持ちで、日頃から準備をしておくことが大切です。

日頃の備え

●最新の気象情報をチェックし、正確な情報を収集しましょう

梅雨の時期や台風シーズンなど、洪水が起こりやすい時期は、テレビやラジオなどの天気予報をしっかりと確認しましょう。

●台風に備え、家の周りを点検しましょう

家の周りに吹き飛ばされそうなものがないか、雨戸や雨どいが傷んでいないかを、確認しておきましょう。

●普段から、非常食や持ち出すものなどの避難準備をしておきましょう

非常食には、調理の手間がかからず、水をあまり使用しないもの（レトルト食品や缶詰など）を選び

ましょう。また、懐中電灯やラジオ、乾電池も忘れずに用意しておきましょう。

●自分がどのルートで、どこに避難するべきかを確認しておきましょう

お住まいの地域に避難指示などが発令された場合に備えて、避難場所と避難経路を確認しておきましょう。

避難とは…

災害などを避けて安全な場所へ移ることであり、避難場所に行くことだけが避難ではありません。暗くなって周りが良く見えない状況での徒歩による避難や、すでに増水している川の近くを通って避難することは、大変危険です。状況によっては、自宅の2階や近くの頑丈な建物に避難する方が安全な場合もあります。状況に応じて、適切な避難をしましょう。



避難指示で必ず避難！

警戒レベル	避難情報など
5 災害発生または切迫	緊急安全確保※1
4 災害のおそれ高い	避難指示
3 災害のおそれあり	高齢者等避難※2
2 気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁）
1 今後気象状況悪化のおそれ	早期注意情報（気象庁）

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはけません！

警戒レベル4避難指示で危険な場所から全員避難しましょう。

避難に時間のかかる高齢者や障がいのある人は、警戒レベル3高齢者等避難で危険な場所から避難しましょう。

※1 警戒レベル5は、災害状況の把握などの関係上、必ず発令されるものではありません。

※2 警戒レベル3は、高齢者以外の人も、必要に応じ普段の行動を見合わせたり、避難の準備や、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

災害に備える チェックリスト

情報の取得方法を確認



防災行政無線の内容を聞き逃した場合は電話でも確認できます。

☎0120-8940-55

家に備える「非常備蓄品」

大災害時などは、公的な支援物資がすぐに届かないかもしれません。最低でも3日、可能なら1週間分を備蓄しましょう。実際にライフラインが止まったら、どのような困りごとが起こるか、普段から意識して災害に備えましょう。

□食料や水（最低3日分）×家族の人数分

※保存期間が長いものを買っておき、消費したら補充しましょう。

□生活用品

例) ポリタンク、ガスコンロ、毛布、生活に欠かせないものなど

すぐに持ち出したいもの（非常用持ち出し品の一例）

貴重品

□現金（要 硬貨） □預金通帳
□印鑑 □免許証・健康保険証など（コピー）

避難用具

□携帯ラジオ □懐中電灯 □予備電池

清潔・健康のためのもの

□救急セット □常備薬
□タオル □着替え（下着含む）

非常食など

□飲料水 □乾パン □缶詰め・缶切り
□栄養補助食品 □あめ・チョコレートなど

感染症対策

□マスク □手指消毒用アルコール
□せっけん・ハンドソープ □体温計 □ウェットティッシュ

その他

□紙おむつ □生理用品 □液体・粉ミルク

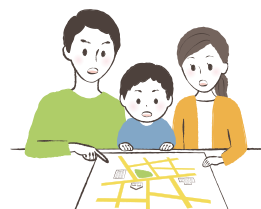
避難場所を確認

災害時にいつ、どこへ、どのように避難するか家族で確認しましょう。

	いつ	どこへ	どのように
例（洪水）	警報が出たら	親戚の家へ	祖父母と車で
□洪水			
□土砂災害			
□地震			

ハザードマップで危険な場所を確認しましょう

ハザードマップには、災害の危険箇所や災害から身を守るための情報を掲載しています。災害による被害を防ぎ、また最小限にするためには、まず、自宅や地域にどんな災害の危険があるのかを知ることが大切です。日頃から家族や地域で話し合い、家から避難所までの経路や家族の連絡先を確認しておきましょう。



ハザードマップは
こちらから確認できます！

